

(1) 学年 (教科 保健体育) 評価計画表・評価方法

3 学期	単元 2	単元 2
科目「保健」	安全な社会生活 安全な社会づくり	安全な社会生活 応急手当
知識・技能。	安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取り組みが必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備に関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。	適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていくことがあることから、速やかに行う必要があること、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことを理解している。
思考・判断・表現	安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取り組みについて考えている。	応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法を応用している。
主体的に学習に取り組む態度	安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている態度を評価の参考とする。	応急手当について、課題の解決に向けた学習態度に主体的に取り組もうとしている態度を評価の参考とする。